

序

近年、グローバル化が加速する中、個々の国だけでは解決できない諸問題が次々に発生しています。このような問題を解決するためには、世界の国々が協力して対処していく必要性がありますが、各国の協調関係の基礎となるのは、国と国、人と人との信頼関係です。このため、各国の相互理解の促進に資する国際交流の重要性は一層増していると言えるでしょう。とりわけ、若い世代における交流の経験は、とらわれのない心で、様々な人と出会い、また、豊かな感性で異なる文化や考え方に直接触れて、思いがけない発見をする大変貴重な機会となります。

このような考え方に基づき、内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施しています。

このうち日本・中国青年親善交流事業は、昭和53年の日中平和友好条約の締結を記念し、日本政府と中国政府の共同事業として昭和54年度から実施しているもので、これまでに延べ2,012名の方が参加されました。

日本・中国青年親善交流事業は、日本青年の中国派遣と中国青年の日本招へいによって構成されています。どちらのプログラムでも、ディスカッションや両国文化紹介など青少年等との交流を行うことに加え、教育・文化・福祉・産業・環境等の各種施設訪問、ホームステイなどを実施しています。中国青年とディスカッションを始めとする交流を行うことは、両国青年相互の友好と理解を促進するとともに、日本青年にとって、国際的に通用する考え方とはどのようなものかを知り、国際的な対応力を身に付ける効果的な良い機会となっています。なお、平成28年度は諸般の事情により、中国青年の日本招へいは行いませんでしたが、今後も、国際社会の各分野で指導性を発揮できる日本青年を更に育成するため、事業の活性化を図っていきたくと考えています。

本書は、平成28年度に実施した第38回日本・中国青年親善交流事業の諸活動を記録したものです。本書を通じて、本事業の成果を御理解いただくとともに、一層の御支援をいただければ幸いです。

また、この事業に参加した青年が事業終了後においても、事業で得た知識や経験、事業を通じて培ったネットワークをいかし、国際交流活動や社会活動に取り組むことは意義深いことであり、内閣府としても、こうした活動を積極的に支援しております。参加青年が社会においてますます重要な役割を果たすことを願ってやみません。

終わりに、本事業の共同実施者である中国政府、中華全国青年連合会を始め御協力をいただいた日本及び中国の関係団体、外務省、地方公共団体などの関係各位に心から御礼申し上げます。

平成29年3月

内閣府青年国際交流担当室長

和田 昭夫